

【金融経済環境】

2021年度上期のわが国経済は、海外経済の好調を背景に輸出や生産で回復の動きが続き、企業業績が改善する中、設備投資が増加したほか、雇用や所得も緩やかに持ち直しました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻さを増す中で、サービス支出を中心に個人消費が低調に推移したことから、全体としては緩やかな回復に止まっています。

当地方の経済は、輸出や生産が全体として緩やかに持ち直し、企業業績が回復に向かう中で、雇用・所得環境も総じて改善傾向を辿りました。しかし、再三に亘る緊急事態宣言の発令に伴う外出自粛や営業自粛が長引いたことなどから、個人消費が低調に推移するなど、厳しい状況が続きました。

【2021年9月期の業績等の概要（連結）】

連結損益につきましては、経常収益は706億30百万円、経常費用は539億25百万円となりました。この結果、経常利益は167億5百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は111億35百万円となりました。

連結財政状態につきましては、総資産は11兆3,031億円、負債は10兆7,800億円となりました。また、純資産は5,230億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金等（譲渡性預金含む）は8兆7,827億円、貸出金は6兆7,663億円、有価証券は1兆5,953億円となりました。